



新年号

# 地域包括

# かこがわ便り

新年明けましておめでとうございます

本年も宜しくお願い申し上げます

## サロン代表者研修会



12月8日、加古川市健康課、加古川市社会福祉協議会とともに加古川市民会館小ホールにて市内のサロン代表者様を対象に「みんなで輝け地域づくり」と題し、地域サロン代表者研修会を開催し約300名の方にご参加いただきました。今回、地域福祉論を専門にされている桃山学院大学副学長であり、社会福祉学部社会福祉学科教授の「松端 克文（まつのはな かつふみ）」先生をお招きしましてご講演いただきました。

地域医療介護総合確保推進法が成立し、地域包括ケアシステムの構築が社会全体で取り組む最重要課題とされ、住民主体の通いの場の充実が必要とされています。この転換期において今何をすべきか具体的で解りやすいお話をいただき、「サロンにかかわる動機づけを強めてくれた」「人を大切にする町づくりに意欲を燃やしていきたい」などの心強い言葉が聞かれました。

センターとしてもみんなが元気で地域づくりに参画できるように努めていきたいと思えます。



## 粟津町内会



10月31日、粟津町内会様よりお声をかけて頂き「地域で取り組む認知症ケア」と題し、地域の皆様に向けてお話をさせていただきました。地域でのたすけあい・見守り等のほか、地域包括の立場として権利擁護の視点を大事にしたいとお伝えしました。また後半では、『加古川認知症の人と家族、サポーターの会「元気会」』の吉田会長より日頃の思いや「認知症の病気である前に1人の人間としての尊厳を大事にしてほしい」という介護の原点をお話いただき、皆様とても感銘を受けられておられました。今回お話させていただきましたご縁を機に、気軽に相談できる窓口の一つとして上手くセンターをご活用いただけたら何よりだと思っております。

## いきいき百歳体操

間形集会所で行なわれている体操グループのご紹介をさせていただきます。

定期的に体操をしたいという意欲のある住民の方の集まりで、加古川市で取り組み始めた「いきいき百歳体操」を始めることになりました。通称「いき百」と呼ばれているこの体操は元々高知市が発祥の地で、筋力アップに非常に効果があると言われ全国に普及しつつある体操です。誰でも気軽にできる体操ですが、地域の住民が主体となって運営していくという事で、希望のグループに加古川市健康課が立ち上げ支援を実施しています。私どもセンターも後方支援という形で11月4日に参加させていただきましたが、すっかり手馴れた様子で準備から声かけ、体操などを行い、地域の気軽な仲間同士ならではの和気あいあいとした雰囲気が印象的でした。

時々私どもも参加させて頂き、皆様のパワーを頂戴したいです。



## 本町地区 認知症高齢者の支援についての勉強会



11月2日、本年も本町地区町内会連合会から依頼を頂き、認知症高齢者を地域で支え、「認知症になっても安心して暮らせるまちづくり」をテーマに勉強会に参加しました。ロールプレイ劇や講話を通して、認知症を正しく理解し、見守り助け合っていくことの大切さを再認識して頂けたのではないかと思います。町内会、行政や警察、ニッケグループ、消防団など多くの機関の協力があり、100名以上の方がご参加されました。今後も、地域と関係機関が手を取り合って、顔と顔の見える関係を作っていけたらと思います。

## 美乃利シニアクラブ

11月20日、美乃利シニアクラブ様のご依頼で松本病院リハビリ・地域連携室スタッフの皆さま総勢18名のご協力を頂き、『体力測定』を行ないました。今回で6回目となりますが、ほとんどの方が体力を維持されており、特に握力の保持には驚かされます。生活習慣を聞いてみますと、こちらではグラウンドゴルフを毎週2回開催されており、そのグラウンドゴルフをするのに自転車で日岡山公園まで行かれているそうです。今後もモチベーションの向上に少しでもつながるようご支援させて頂きたいと思っております。



## 高年福祉部会・第2回研修会



11月26日に加古川公民館で、民生委員様を対象に介護保険制度について説明させていただきました。民生委員様の1/3の方が新しく交代され、介護保険についても在宅サービスや施設についてもっと詳しく教えてほしいという要望もいただき、関心の高さが伺われました。これからも民生委員様とは、よりよい連携をとり身近な相談窓口でありたいと思っております。

## 鳩里小学校 認知症サポーター養成講座

11月6日に鳩里小学校5年生の生徒さんを対象に、認知症サポーター養成講座を開催しました。鳩里小学校では、人権学習の一環として地域のグループホームと交流されており、施設の訪問に備え認知症の知識や対応について、スライドを活用し説明しました。その後は教室で具体的な対応方法について、グループワークを行ないました。小学生の皆様はとても熱心に耳を傾け、活発な意見がでていました。今後も認知症の人やその家族を支えてくれる身近な支援者が1人でも多く増え、安心して暮らせるよう支援していきたいと思っております。



## リフレッシュバス旅行



10月22日、介護者の集いの行事として全国でも数少ない聴覚障害を持つ方に配慮された特養「淡路ふくろうの郷」に見学に行きました。入居者様からこれまでの生い立ちを伺い、ふくろうの郷が出来てやっと安心して生活が出来るようになったと、いきいきとした表情で話されていました。参加者一同、「心を打たれた」と涙ぐむ方もおられました。その後は、「淡路ハイウェイオアシス」で昼食を摂り、物産展では淡路の特産品の買い物を楽しみました。実りの多い素敵な旅行となりました。

